

2022年9月10日

乗木養一

## 6年A漢字「専」指導対象漢字語候補 語釈・文例集

「教育基本語イ表」や「国字研プリント」、教科書などであつかわれている語について、各種国語辞典から語釈と文例、「国字研プリント」や教科書などからおもな文例をあつめました。検討資料ということから、似たような語釈、文例もならべています。

### 本資料に掲載するコトバ

- |    |     |       |                      |
|----|-----|-------|----------------------|
| 1. | 専門  | (17A) | 国字研プリント<br>児言研教育基本語イ |
| 2. | 専門家 | (18A) | 国字研プリント              |
| 3. | 専用  | (20B) | 国字研プリント              |
| 4. | 専科  | (3A)  | 国字研プリント              |

( )内の数字は、別資料「語イ表」の50音順整理番号。

A, Bは、別資料「語イ表」における概括意味分類。

## 1. (17A) 専門

〔国字研プリント〕「母は、洋裁を専門にしている。」

〔児言研教育基本語イ〕小学校Aレベル

〔阪本教育基本語イ〕小学校高学年第1レベル

### ポイント

- ① 「専門家」「専門店」など複合語の方が具体的であり、《専門》の意味をとらえやすい傾向がある。
- ② 意味は、下記①②のふたつにわかれるが、小学生段階では②はなじみがないだろう。
- ③ 「専門」と誤記しがちである。「門」の意味をおさえておきたい。

### 句型・文型

「c」が多くみられる。

a 専門は～だ (デアル)	専門は生物学です
b ～が専門だ (デアル)	ウルシ塗りが専門だ
c ～を専門にスル／～を専門とスル (シテ)	洋裁を専門にする
d ～の専門に～スル (シテ)	ひとつの専門にこだわらずに
e ～の専門を～スル (シテ)	それぞれの専門を生かして
f ～専門の～〈ナニ・ダレ〉	専門のエサ・専門のトレーナー

### 意味・用例

**せんもん**【専門】名詞

#### ① A 一つの学問や仕事だけに深くかかわること。また、その学問や仕事。

- 特定の分野をもっぱら研究・担当すること。また、その学科・事項など。
- 限られた分野の学問や職業にもっぱら従事すること。また、その学問や職業。
- 学問・職業などで、その人がもっぱら研究したり、従事したりしているもの。
- その事を研究・担当するだけで、他の部門にはかかわらないこと。また、その科目・事柄。
- ◎母は、洋裁を専門にしている。(国字研プリント)
- ◎国内における海獣の飼育はまだ歴史が浅く、海獣を専門にみる獣医師は数えるほどしかない。(「プロフェッショナルたち」東書6年)
- ◎案内してきた専門の鉄砲打ちも、ちょっとまごついて、どこかへ行ってしまったくらいの山奥でした。(宮沢賢治『注文の多い料理店』)

- ◎特に、その人形を専門に買い集めてきたという京都の商人が現われてから…  
(井上光晴『地の群れ』)
- ◎人は人類の利益のために働くよりも寧ろ彼等みずからの、またその国家の利益を  
専門として考えているので、大戦争が頻々として起る。(桐生悠々『科学的新聞記  
者』)
- ◎文学を専門に研究する。(三省堂『例解小学国語辞典』)
- ◎姉は大学で英文学を専門に研究しています。(くもん『学習漢字字典』)
- ◎古代史を専門に研究する。(『大辞林』)
- ◎彼の専門は法律だ。専門外の仕事。(『大辞泉』)
- ◎統計学を専門とする学者。(『明鏡国語辞典』)
- ◎専門が分かれる。(『新明解国語辞典』)

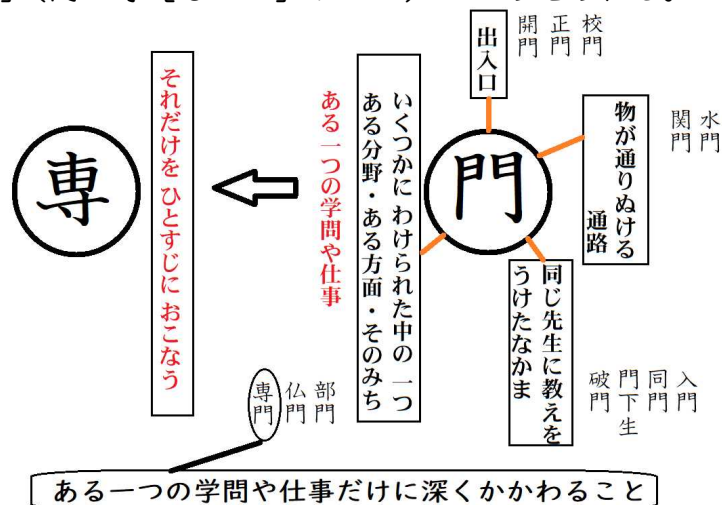
② **A** ある一つのことだけに専念すること。

- 一つのことだけに関心を向けること。
- 一つのことだけで押し通すこと。一本やり。
- もっぱら関心を向けている事柄。
- 食いけ専門。
- 趣味は釣り専門です。
- 見容 [みえ] 専門に飾るよりも、知識 [がくもん] 大事に研く方が、グット身の為  
に… (坪内逍遙『当世書生気質』1885 - 86)

**注意** 「専門」「専門」と書くのはあやまり。

「専門家に口出すな！」(小池隆夫さん)

**語構成** 「専」を《特定の対象だけを修める》という意味の動詞ととらえ、  
「専←門」(門ヲ専 [もっぱ] ラニス) ととらえられる。



もともとの意味

●ある一種の経書を限って研究すること 初出『漢書』（1世紀）

①ある一つの学問や仕事だけに深くかかわること

また、その学問や仕事

日本における初出『経国集』（平安前期・9世紀）

19世紀後半から多用される。

19世紀後半からは、「専門的」「専門学校」などの派生語・複合語がうまれる。

②ある一つのことだけに専念すること

19世紀後半からみられるようになる。話しコトバにみられる傾向がある。

「専門」のはじまり

同じ先生に教えをうけたなかま

門（儒教經典の一つの解釈を代々うけつぐ学派）ヲ專 [もっぱ] ラニス。

●ある一種の経書をかぎって研究すること

《一つの経書にだけもっぱらくわしく通ずること》

紀元前5世紀ごろの春秋戦国時代に、孔子によって主張された政治道徳思想である儒学は、紀元前2～1世紀の前漢の時代に国家公認のもとに官学化します。

儒学の最も基本的な教えをしるした書物である「論語」や「書経」「春秋」などの書物を「経書」[けいしょ]といますが、この時代、これらの字句解釈の学問がさかんになります。そしてさまざまな独自の解釈や説をもとに、それぞれが対立したりするようになりました。

そこでは多くの学派が生まれ、《同じ師に教えをうけたなかま》が形成されます。そして師からつたえられる内容解釈（注釈）と方法は絶対的なものとして守らなければならなくなります。

この前漢（紀元前2-1世紀）の歴史を記した『漢書』（1世紀成立）の「列伝」（伝記）に「専門」が2例みられます。夏侯建[かこうけん]と嚴彭祖[がんほうそ]というひとについてふれるくだりです。

ふたりとも紀元前1世紀、宣帝のころの儒者であり官僚にのぼりつめた人物です。まさに《一つの経書にだけもっぱらくわしく通ずる》を地で行くようなひとだったようです。

なお『漢書』では「**顓門**」[せんもん]という表記をしていますが、「専門」の古い語形です。

夏侯 建 [かこう けん] について

◎『漢書』列伝45 眭両夏侯京翼李伝（夏侯 勝伝）

建卒自**顓門**名經，為議郎博士，至太子少傅。

[意識] 建（夏侯建）は、みずから**門**を**顓** [もっぱ] らにし（ひとつの經書を限って研究し）、名經（必ず守らなければならない道義上の分限である名分を正す儒教の經典）を卒 [お] え、議郎博士（官位）と為 [な] り、しまいには太子少傅（官位）に至った。

夏侯 建 [かこう けん] は、夏侯 勝 [かこう しょう] のいところ（おじの子）だそうです。夏侯 勝の伝記によると、夏侯 勝は「經書」のなかでも『書経』と『洪範五行伝』にくわしく通じており、博士として皇帝につかえたといわれます。そして夏侯 建は、夏侯 勝らから**ひとつの經書をかぎって学び、研究し**、やがてかれの学説は大成し、最後は、皇太子の師とみられる太子少傅という官位になったといわれます。

嚴 彭祖 [がん ほうそ] について

◎『漢書』列伝58 儒林伝（嚴彭祖伝）

嚴彭祖字公子，東海下邳人也。與顏安樂俱事眭孟。孟弟子百餘人，唯彭祖、安樂為明，質問疑誼，各持所見。孟曰：「春秋之意，在二子矣！」孟死，彭祖、安樂各**顓門**教授。由是公羊春秋有顏、嚴之學。

[意識]（嚴彭祖）は 顏安樂 [がんあんらく] と俱に 眭孟 [けいもう] に事 [つか] ふ。[中略] 孟死す。彭祖・安樂、各々 **門**を **顓** [もっぱ] らにして教授す。是れに由りて公羊春秋に顏・嚴の學有り。

この伝記にある 眭孟 [けいもう]（本名：眭弘 [けいこう・すいこう]）は、儒教經典である『春秋』の解釈書が複数あるなかで『春秋公羊伝』[しゅんじゅうくようでん]にかぎって、もっぱら研究をすすめました。

そして弟子の 嚴 彭祖 [がん ほうそ] と、眭孟 の姉の子である 顏安樂 [がんあんらく] につたえています。二人はそれぞれ『春秋公羊伝』という**ひとつの經書をかぎって研究し**、後進に教えひろめました。ともに『春秋公羊伝』の学者として大成し、「公羊学」という学派を形成しました。

後漢の時代には『春秋』の解釈について、嚴 彭祖 の説を「公羊嚴氏」、顏安樂 の説を「公羊顏氏」とよばれるようになり、ともに公的に学ばれています。

## 「顯門」から「専門」に

「顯」[セン]は《善良である・おろか・もっぱら》などの意味をもつ漢字でしたが、このうち《もっぱら》が「專」に通じ、やがて「顯門」は、「専門」と表記するのが一般的になりました。

ただし、「専門」と書かれても、はじめのうちは、**ある一種の経書をかぎって研究すること**、儒学にかかわる意味で使われ続けられます。

『論衡』(1世紀) 經明德就，謝師而**専門**，援筆而眾奇。

『後漢書』 儒林列傳下 (5世紀) 塗分流別，**専門**並興。

『藝文類聚』(7世紀, 624年) 卷55・雜文部一・經典

「啟」《齊謝朓隨王賜左傳啟》…早惜河籍，業謝**専門**，說非章句，庶得既因而學，…

『北史』(7世紀 659年) 卷81・列傳69・儒林上序

勵從師之志，守**専門**炎業，辭親戚，… 雖曰**専門**，亦皆相祖習也。

やがて、時代がすぎるにしたがって、**①ある一つの学問や仕事だけに深くかかわることの意味**にうつっていきました。

『大唐西域記』 玄奘 (7世紀, 646年) 卷2・印度総説

部執峰峙，淨論波濤，異学**専門**，殊途同致。

『眉州康司馬挽歌詞』 張九齡 (8世紀) 家受**専門**學，人稱入室賢。

## 日本につたわった「専門」

「専門」の語は、奈良時代の官吏国家試験の答案のなかで使われていることがわかっています。紀真象 [きの まかた] という役人が757年(天平宝字 [てんぴょうほうじ] 元年)に受けた試験で、「対新羅政策」と「文字の成立」の2問にこたえて合格し、正六位上という位階に昇進し、国司の次官クラスである駿河介 [するがのすけ] に任じられたそうです。

「専門」があるのは、「文字の成立」についての答案のつぎの部分です。

… 臣學非稽古，業謝**専門**。以閭閻之小才，叨明時之買薦。…

(文理生大初位上 紀朝臣真象上)

(『経国集』 卷20 駿河介正六位上 紀朝臣真象 對策文 二首のうち「結繩書契」)

[意訳] わたくしは、むかしのことがらについて資料をくらべあわせて調べることを学んでおりません。わたくしの学業は、文字について**深くかかわる学問**におよびません。いなか者で才能にとぼしく、太平の世において官のしもべとして選ばれるおかげをこうむっております。

そうとうケンソンして答えています。ここだけ読んだら、よく合格したなどと思わされますが、ここにいたる前段は、文字・漢字についてじつにくわしいのです。

古代中国で文字のかわりに縄を結んで政令の符号とした結繩 [けつじょう] のこと、これにかわって文字で書きしるした書契 [しょけい] のこと、そして漢字を発明したという伝説上の人物：倉頡 [そうけつ] にふれ、寫形（象形）・指事・転注・仮借などについて書いています。奈良時代としては、かなりの知識をもっていたことがわかります。

「専門」が、❶ある一つの学問や仕事だけに深くかかわることの意味で使われています。

この文は、平安時代初期 827 年に編さんされた漢詩集『経国集』[けいこくしゅう] 巻 20 に収録され、いまにつたわっています。

その他、つぎの文書に「専門」がつかわれています。

『空華集』[くうげしゅう] 義堂周信（14 世紀，南北朝時代）14 松月閣頌後序

大徳学台止観明静，是其**専門**

同書は，五山詩文集。

『授業編』江村北海（18 世紀，1783 年）4

医家ノ子弟ナレバ**専門**ノ業アルハ云ニ及バズ。

同書は，漢学入門の手引書。

## 派生・複合・略語

近代になると、「専門」から派生化・複合化・略語化した語が多数うまれます。

- 【専門教科】1839 年，『外国事情書』
- 【専門家】1872 年，奥山虎章『医語類聚』
- 【専門学校】1884 年，若林虎三郎『小学読本』
- 【専門学】1896 年，尾崎紅葉『多情多恨』
- 【専門的】1900 年，『英和外交商業字彙』
- 【専門医】1901 年，中江兆民『一年有半』

20 世紀になると，さらに多くの語がうまれました。（次ページ参照）

## ◎複合語の例

【専門医】特定の診療科に精通し、もっぱらその領域の診断・治療に当たる医師。学会によって認定される。

【専門委員】建築や医事など専門的見地を必要とする訴訟の手續に關与し、裁判所に専門的見地から説明を行う非常勤の裁判所職員。2003年の民事訴訟法改正によって設置。

【専門学校】法的には高等学校卒業者を対象とする専門課程を置く専修学校。一般には中学校卒業者を対象とする専修学校にもこの名称が用いられる。

【専門教育】職業・芸能などに対応した特定の分野・内容に関する専門的な教育。高等学校で普通教育と並ぶ教育。

【専門技術】【専門技術者】【専門技術職】

【専門語】学術・技芸など専門の分野で用いられる語。術語。→日常語。

【専門書】学術・技芸など専門の分野のことが書かれている書物。→一般書。

【専門知】専門家が持っている知識。また、その専門分野に関する事象について理解し、判断する能力。

【専門店】特定の商品を専門に販売する店。→量販店。

【専門分野】専門的見地を必要とする特定の分野。

【専門外】その分野を専門としていないこと。

## ◎派生語の例

【専門的】[形動] ある分野に特にかかわりのあるさま。ある分野に精通しているさま。「専門的な知識」

【専門家的】【専門家的な】【専門家的に】

【専門性】[名詞] 特定の分野についてのみ深く関わっているさま。高度な知識や経験を要求されること、またはその度合い。「専門性が高い職種でスキルを磨く」

【専門化】[名詞・自他サ変] 分業の結果として生じる機能の純化の総称。

【専門店化】【専門職化】

## ◎略語「～専」の例

①「高専」…「国公私立高等専門学校」の略称。

②旧学制下の専門学校の略称。「高専」（高等学校と専門学校とを併せた称）

「医専」「経専」「工専」「女専」「専検」（旧学制下の専門学校入学者資格検定試験の略称）



## 2. (18A) 専門家

〔国字研プリント〕「ケーキ作りの専門家。」

### ポイント

- ① どの分野の「専門家」がいるか、集めてみる事が考えられる。

### 意味・用例

**せんもん**【専門家】名詞

#### ① **A** ある学科、ある仕事に特別に深くかかわっているひと。

→ 門外漢。

- あるひとつの仕事や分野だけに深くたずさわっているひと。
- 特定の分野をもっぱら研究・担当するひと。
- 限られた分野の学問や職業にもっぱら従事するひと。
- 学問・職業などで、その人がもっぱら研究したり、従事したりしているひと。
- その事を研究・担当するだけで、他の部門にはかかわらないひと。
- ◎父は、ケーキ作りの専門家だ。(国字研プリント)
- ◎(取材するとき。取材の観点) 専門家の意見。(「自分の考えを発信しよう」教出6年下巻)

〔類語〕 ≍ プロ・スペシャリスト・くろうと・本職・熟練者・エキスパート・ゼネラリスト・セミプロ・プロフェッショナル・匠たくみ・名人・達人・達者・名手・巨星・巨匠・名匠・名工・大家たいか・権威・腕利き・腕扱き・腕達者・第一人者・仕事師・遣り手・敏腕・素人しろうと離れ・玄人くろうとはだし・神業かみわざ・ベテラン・オーソリティー・ソムリエ・スキルドワーカー・マイスター・プロパー

- ◎「～の専門家」「～関係専門家」とするのが一般的だが、つぎのような特定の分野で複合語になる傾向がある。

【IT 専門家】【観光専門家】【軍事専門家】【経済専門家】【原子力専門家】【建築専門家】  
【児童福祉専門家】【防衛専門家】【ライフワーク専門家】【外部専門家】【部外専門家】

- ◎「専門家」をふくむ複合語の例

【専門家会議】【専門家会合】【専門家懇談会】【専門家集団】【専門家シンポジウム】【専門家組織アドバイザリーボード】【専門家チーム】【専門家派遣】【専門家部会】【専門家部門】【専門家分科会】【専門家有志】【専門家筋】【専門家はだし】【専門家レベル】

### 3. (20B) 専用

〔国字研プリント〕「このノートは、算数の専用だ。」

〔阪本教育基本語イ〕 中学校第1レベル

#### ポイント

- ① なんのための「専用」か、具体例を集めることが考えられる。

#### 意味・用例

せんよう【専用】名詞・他動詞サ変

#### ① B そのひとだけが使うこと。

→ 共用

- 特定の人だけが用いること。
- ある特定の人だけが使用すること。
- ある人だけが使用すること。
- 限られた人だけが使うこと。
- ◎ 「父専用の車」「社長専用車」「大統領専用機」
- ◎ 「マンション居住者が専用する駐車場」「会員が専用するプール」

#### ② B そのことのためにだけ使うこと。

→ 兼用

- ある特定の目的・対象のためだけに用いること。
- あるきまった時・目的だけに使うこと。
- ◎ このノートは、算数の専用だ。(国字研プリント)
- ◎ 燃えるごみ専用のごみ箱に、びんを捨てているところを見かけた。(「伝えにくいことを伝える」光村6年)
- ◎ 「庭専用のほうき」「洗たく専用のバケツ」「自動車専用道路」「夜間専用の電話」「～の相談専用の電話」「夜間専用受付」「女性専用車両」「演劇専用の劇場」「専用施設」「洗顔専用のクリーム」「コロナ専用病床」「濃厚接触者専用の避難所」「スマホ専用アプリ」「～専用の工場」「マウンテンバイク専用のコース」

#### ● それだけをもっぱら用いること。また、何よりも大切なこと。

- そればかり使うこと。
- きまった物だけをいつも使うこと。
- 特定の品物だけをを使うこと。
- ◎ 「外国の化粧品を専用する」「国産品を専用する」

\* 『宋書』沈約著(5世紀)が初出。語源は、●の意味がさきであり、①②は19世紀後半以降でつかわれるようになった。

## 4. (3A) 専科

〔国字研プリント〕「わたしの学校には、音楽の専科の先生がいる。」

### ポイント

- ① 意味・用例の❶は、なじみがうすいだろう。

### 意味・用例

**せんか**【専科】名詞（日本語用法）

#### ❶ A 学校で、ひとつのことがらだけを勉強するコース。

→ 本科・普通科

- ある方面だけを特別に学ぶ課程。また、その課程で学ぶ科目。専門の学科。
- ある分野を専門に学ぶ学科・課程。
- ある分野を専門に学び研究する学科・課程。
- 実技などを教える各種学校の課程の名称に用いられることが多い。
- ◎ 「デザイン専科」「専科に進む」「声楽専科」

#### ❷ A 組織の中である分野のことを専門に担当する科。

- 「専科教員」の略称。小学校教員で特定の教科を担当する教員。音楽・美術・保健体育・家庭の教科に多い。
- 旧制の小学校では専科正教員と呼ばれた。旧制小学校の教員で、多くの教科を受け持つことなく、唱歌、裁縫、体操など特定の教科だけを担当する教員。
- ◎ わたしの学校には、音楽の専科の先生がいる。（国字研プリント）

#### ● 宝塚歌劇団における SUPERIOR members.

- 宝塚歌劇団の特定の組に所属しない一芸に秀でた生徒の集団。

現代中国語における「専科」(专科) [zhuānkē] 名詞

#### ❶ 専門科目

- ◎ 「専科医生《専門医》」「専科詞典《専門辞書》」

#### ❷ 専科学校の略（修業年数3年の専門教育をおこなう単科大学，高等専門学校）

- ◎ 「専科畢業《専門学校卒業》」

\* 13世紀の『朱子語類』，17世紀の『金瓶梅』に用例がみられるが，現代語の意味とはことなり《専門家》のニュアンスをもったコトバだった。

宝塚歌劇団における専科（せんか、英称：SUPERIOR members）